

総合学科高校の目玉 社会人による職業人ガイダンスを実施しました。

9月15日(金)5校時・6校時「産業社会と人間」の授業で、社会人による職業人ガイダンスを行いました。

この授業は16教室を使用し、公務員・理学療法士・自動車整備士・プログラマー・美容・エステシャン・介護関係・調理師・動物看護・医療事務・ホテルスタッフ・アパレル関係など、様々な業務を本業としている現役の社会人を招聘し、専門的な業務内容や業務上のトラブルなどの話を聞きます。また生徒が疑問に感じたことはインタビューを行い、その仕事の理解を深めます。

100分の授業の中ですべての業務の話を書くことは不可能なので、後日それぞれの班が社会人から聞いた内容をまとめ、プレゼンテーションを行うことで職業に関する情報共有を行います。

生徒の感想は次のとおりです。

- ・ 動物の採血を行うのに、動物が動いて採血を失敗したら、しばらくはその血管からは採血ができない。慎重に採血し、動物に痛みを感じさせないように行うのは大変そうだ。
- ・ ウェディングプランナーを希望していたが、結婚するカップルが少なくなったうえ、結婚式のスタイルも変化していることを知り、職種を考え直そうと思った。
- ・ 大企業も良いが、中小企業の「自由度・小回りの良さ」に興味を持った。これからどのような企業に就職しようか真剣に考えたいと思う。
- ・ アパレル関係の業務では、芸能人と接触することができ、握手することもできることを知り、興味がわいた。
- ・ 医療事務の仕事でレセプト(診療報酬明細)はとても重要であり、レセプトでミスをすると病院側の損失となることを知った。
- ・ 警察官の業務は、事件・事故現場に必ず行くものと思っていたが、事務仕事のための警察官もいることを知り、驚いた。

